

陽東中学校地域協議会

家庭科の「まつり縫いとミシンの実習」に対する支援

- 2校時連続で行われる1年生の家庭科の時間に、地域のボランティアの協力を得て、「まつり縫いとミシンの実習」が行われました。
- 陽東中学校は1年生が8クラスある大規模校のため、この家庭科の授業への支援は1組から4組を対象に1学期8回、5組から8組を対象に2学期8回に分けて実施されています。
- 当日、ボランティアの方には、家庭科の教科担任の説明を受けて作業をする生徒達に、「まつり縫いの仕方」や「ミシンの使い方」を教えるなどのサポートをしました。
- 実施にあたっては、学校を通して、保護者宛てにボランティアの募集案内を出しているほか、地域学校園の繋がりを生かし、近隣の小学校の地域コーディネーターなどにも協力を呼びかけ、ボランティアを集めました。
- 生徒からは、「小学校の時もミシンを教えてくれた人が来ている」、「先生は1人しか居ないので、ボランティアの人がいるとお気軽に教えてもらえる」、「ボランティアの人が話しかけてくれるので楽しい」などの意見が聞かれ、地域の大人が生徒と関わりを持ちながら、学校教育の充実が図られる活動となりました。
- また、活動終了後に、参加したボランティア同士の交流の場を設けています。この場を活用して、活動の振り返りや、地域コーディネーターによる次回の活動の案内などが行われています。



まつり縫いの指導



ミシンの使い方の指導



活動後のティータイム

【学校の声】

家庭科のミシンを使った実習など実技科目は、教科担任1人で全ての生徒を指導することは容易ではないため、地域の方がボランティアとして協力してくれることはとても頼もしいです。

また、本校は生徒数が多いためミシンの台数も多く、中には古いものもありますが、ボランティアの方が事前に点検や簡単なメンテナンスまでしてくれているため、安心して授業を実施することができています。

【地域協議会の声】

中学生に対しては、発達段階に応じて、自分で出来ることはできるだけ自分でやってもらいたいため、地域協議会としてどこまでの支援をしていくかを考えながら活動しています。

活動後のティータイムでは、ボランティア同士の交流の場として楽しむことはもちろん、活動の感想や改善点を聞き、次回の活動に活かせるようにしています。

【いいね！】

- 地域学校園内の小学校と中学校の両方の地域協議会において、ボランティア活動に携わっている方が多いため、子どもと大人の双方がお互いの顔と名前を覚えているなど、地域ぐるみでの子育てに繋がる活動となっている。
- 活動後にボランティア同士での交流の場が設けられており、ボランティア同士の繋がりができ、活動に継続して参加したくなる雰囲気醸成されている。

